

# 玉永寺通信

2007.9

第31号

発行：富山市水橋小出 52 玉永寺

編集：石川正穂



## 安養の浄土 あんによう じょうと

暑い夏が終わりましたが、みなさまお疲れは出ていませんかでしょうか。

夏休みのあいだ、毎朝、境内ではラジオ体操の音楽と子どもたちの掛け声が響いていました。

インターネットのブログにこうした写真を載せますと「懐かしい」という言葉が返ってきます。故郷を思わせる情景なのでしょうね。

ますます荒んでいくような社会世相や日常生活のなかで、本当に楽になれる、安らげる場所を見出すことは難しくなりました。

しかし、子どもの頃の美しい記憶が思いだせるならば、そして故郷がいまも多くの子どもたちを育てていてくれるならば、がんばって生きていけるような気がしています。

わたしは、それが「浄土」なのだと考えています。

## 玉永寺しゃしんど誌

4月15日 子ども会歓送迎会

今年3人が卒業です。6年間、活躍してくれましたが、もうすっかり中学生ですね。めでたいけれど、さびしいお別れです。



5月26日、27日 祠堂経法要



天候に恵まれ、昨年を上回る方々がお参りしてくださいました。

今年も朝日町の光照寺若院、藤條法彰さんにお話をしていただきました。藤條さんの御法話は素朴で、飾り気がなく、心打た

れました。

左の写真は26日のお講当番をしてくださいました滑川市安田の方々です。玉永寺の行事には各地区からのお力添えが欠かせません。心から御礼申し上げます。



7月15日 玉永寺委員会

門徒総代と各地区の世話方に集まっていたきました。20人の出席がありました。昨年度の年中行事収支決算、今年度予算

一戸あたりの本山・玉永寺ご依頼額について審議しました。

その他、来年、京都方面へ旅行会を開催すること、災害保険加入について検討することなどについて協議しました。

8月15～16日 暁天講座



15日は水橋高校校長、舟橋村等通寺住職の高谷純夫さんから「浄土真宗と立山信仰」のお話をいただきました。プロジェクターを使ってスクリーンに立山曼荼羅を映すという、新しい試みを行いました。

16日は白山市松任、仙龍寺住職の春秋賛さんから「碍は衆生に属す」というお話をお聞きました。例年になく暑い朝でしたが、2日間でのべ130人ももの参詣がありました。ありがとうございました。

## 前任職が本山参務に再就任



総務部、内事部、企画室、総合企画広報部を担当いたします。

6月19日から東本願寺の参務に再任しました。

8年前に初めて参務に任命されたとき、「ごげはん、本山まいる人にお茶を出すのにご苦労さんですね」と言ってくれた門徒のお婆さんがありました。

ビックリしましたが、今はお参りになる一人一人を大切にして勤めてほしいとの励ましであったと思っています。

現在は親鸞聖人750回御遠忌法要を意義のあるご法要にしたい、教学、教化、募財のあり方をこれからの時代にふさわしいものになりたいと願い、お婆さんの言葉を大事にして、会議に出席しています。

皆さん京都へこられる機会がありましたらぜひ訪ねて来て下さい。

(石川正生)

10月20日 日中 午後1時半

21日 晨朝 午前10時

日中 午後1時半

宗祖親鸞聖人に出会う

# 報恩講

法話 聞願寺若院 埴山法雄氏

追記

20日 朝9時半より

仏教婦人会が開催されます

お誘いあわせお参りください



蓮の花が庭先に咲きました



## 編集後記

父が再び京都に常駐することになりました。寺の運営には支障が出ないように努力しておりますが、いたらない点が出てくるかもしれません。今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

来年3月から5月にかけて、富山別院の法要にあわせた様々な行事が準備されています。次号に内容を掲載しますのでご期待ください。東京と岡山のハンセン病療養所を訪れています。富山出身の方に里帰りを勧めているのですが、なかなかうまくいきません。差別と偏見の壁の厚さを実感しています。

玉永寺通信

発行所 富山市水橋小出五二一

真宗大谷派玉永寺

TEL 076(478)0846

インターネットホームページ

<http://www.gyokueiji.net/>